

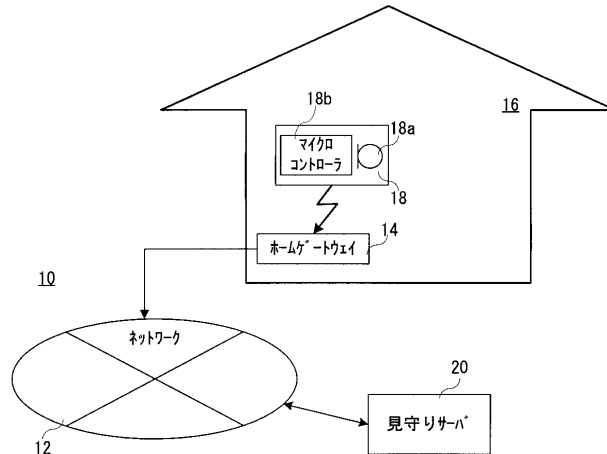
技術の名称

生活空間の見守り

適用分野

独居高齢者の見守り(監視)システム

- 目的 見守り対象者のプライバシーを保護しつつ、対象者の具体的な生活状況を把握する。
- 効果 現在、独居高齢者の生活音から、起きている、寝ているなどの単純な状態を推定するもの、或いは居室に配置したマイクロフォンが収集した音をそのまま利用するシステムが存在するものの、プライバシーを保護しつつ具体的な生活状況の把握はできなかった。これに対し、本発明によれば、見守り対象者のプライバシーを保護しつつ、対象者の生活状況の把握ができる。
- 技術概要 高齢者の独居家屋16内にマイクロフォンなどからなる音センサデバイス18を配置し、そのデバイス18からの音信号はコントローラ18bによって簡略化処理されてゲートウェイ14、ネットワーク12を介して見守り介護者が居る見守りサーバ20に伝達される構成となっており、コントローラ18bにおいては、音センサデバイス18からの音信号を周波数方向および時間方向の2つの軸方向において粗くした簡略化スペクトラムを生成している。

■ 特記事項、
図など

- 主たる提供特許 特許等の名称:生活空間の見守りシステム
登録番号:
出願番号:特願2010-106323 出願日:平成22年5月6日
公開番号:

- 実施実績 有、 ○無
- 提供形態 ○実施許諾、 ×権利譲渡

お問合せ先 株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都府相楽郡精華町光台二丁目2番地2
TEL 0774-95-1171, 1195 E-mail ; patent@atr.jp